



もとみや 議会だより

第86号

令和7年10月29日発行

9月定例会



きのこの歌体操 楽しい！



市議会のHPからご覧いただけます！

目次

特集 令和6年度決算

- ・ 特集 決算審査 P2～6
- ・ 議案Topic P7
- ・ 常任委員会審査 P8、9
- ・ 討論 P9、10
- ・ 議決結果・賛否一覧 P10、11
- ・ 人事・表彰 P12
- ・ 一般質問 P13～17
- ・ 裏表紙・あとがき P18

決算審査意見(監査委員の意見書を要約、抜粋しています)

コロナ禍の3年間を乗り越え、社会経済活動も正常化され、新たな社会情勢に応じた事業展開がなされてきた。各種事業においてはデジタル化が加速しており、DXの推進を図りながら高齢者に優しいデジタル化に努め、さらなる市民サービスの向上と事務の行動化・効率化を図れることを期待する。

一方、緊迫した社会情勢が続く中、持続可能な世界の発展のため、社会環境の変化に柔軟に対応していく必要がある。加えて、第二次総合計画の実現に向け高度情報化社会を見据えた魅力的な次世代に誇れるまちづくりを目指し、効果的な情報発信にSNS等を活用するなど、各種施策を強力に推進されるよう努められたい。

一人あたり金額(令和7年3月31日時点人口の29,576人として計算)

歳入総額 635,766円		歳出総額 603,321円	
議会費	6,200円	労働費	281円
総務費	107,847円	農林水産業費	10,865円
民生費	182,911円	商工費	15,891円
衛生費	34,911円	土木費	60,950円
		消防費	20,795円
		教育費	109,625円
		公債費	53,045円

Check!

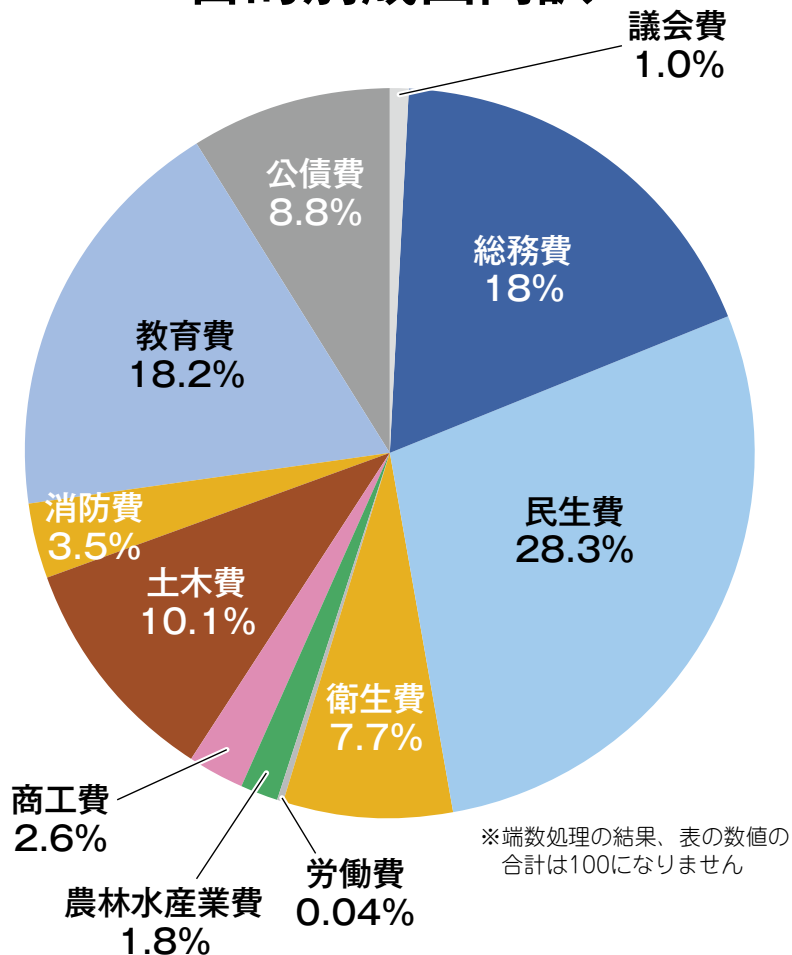
14億1,036万円
計画の基準：14億円)

硬直度合 93.8%
対する経常支出の割合)

返済比率 5.4%
に対して将来分も含み
返済に充てた割合
(35%、市25%)

負担 66.9%
対して現在負担している
総額の割合
(全化基準：350%)

目的別歳出内訳



認定

一般会計決算

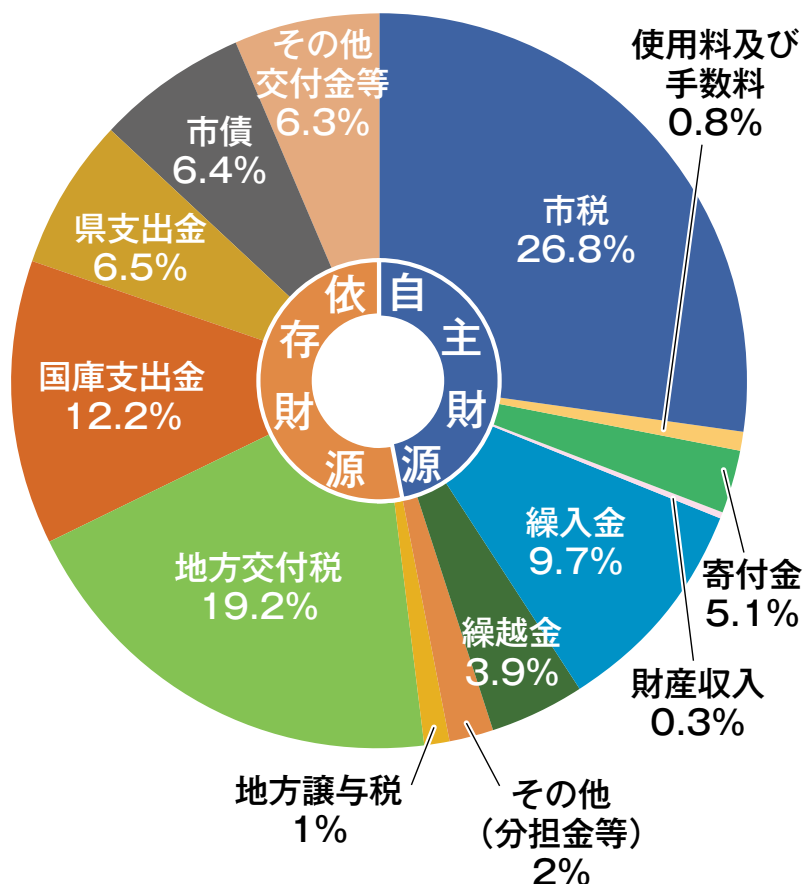
歳入 188億 343万円(前年比2.3%の増)

歳出 178億4,383万円(前年比3.8%の増)

翌年度繰越分を除いた実質収支 9億1,103万円の**黒字決算**

令和6年度の本宮市の特別会計を含む決算は全体として黒字決算となりました。財政運営指標も財政調整基金残高は市の財政運営計画の基準14億円を残し、経常収支比率及び実質公債費率は昨年より下がり、実質公債費率は国、市の基準を下回るなど、健全な財政運営を堅持しています。

区分別歳入内訳



市の貯金
(財政運営)



財政の
(経常収入に)



借金の
(収入見込み
借金の
(基準国)



将来
(収入見込みに
債務
(早期健

したか？

Q 空家バンクの登録件数、伸び悩みの原因は

空家相談件数は32件だが、空家バンクの登録件数は5、6件と横ばい。ギャップがあるが状況は。

A 粘り強く周知を継続する

相談会で話を聞くと所有者の売却、活用への意欲の低さを感じるところではあるが、空家バンクの運用力、情報発信不足も感じるところであり空家問題の認識を高めるため粘り強く周知を継続して実施していきたい。

Q 介護保険料、負担が大きいのでは

介護保険料の滞納繰越が多額である。保険料そのものが大変と話も聞くが状況をどのように把握しているか。

A 13市の中でも2番目に低い。救済制度の周知を図る

介護保険料については県内でも比較的低い数値であり13市では2番目程度に安い金額となっている。低所得者に対する救済制度もあり、チラシをすべての保険者に送っている。

Q 防火水槽の破損、パトロールが必要では

自分でも歩くと破損や修繕が必要な箇所がある。消防団の指摘だけでなくパトロールも必要では。

A 消防団、消防署と協力していく

各分団から都度、情報提供により実際に現地を確認、程度を確認したうえで優先順位をつけて修繕を実施している。防火水槽の確認としては消防署の協力を借りながら取り組んでいる。

Q 最低制限価格の設定、市内外の業者の件数は

入札件数、全体が150件ということだが、最低制限価格のありなしの件数と、市内業者と市外業者の落札件数について問う。

A 最低制限価格は105件に設定、市内業者が113件、市外業者は36件

最低制限価格を設定した件数について、工事については96件、委託が9件で合計105件あった。落札件数については市内業者が113件、市外業者は36件となっている。

※1件が入札不調となったため、

落札数の合計は全体の件数と一致しません。

決算審査特別委員会の質疑をピックアップしました。皆さんの興味がある質問はありま

Q 処分した普通財産に農地がある理由は

普通財産の処分で通常、市が農地の地目の土地を取得していることに疑問があるが、経過について問う。

A みずいろ保育所整備の残地

処分した土地はみずいろ保育所の建設時に市が取得したもので、その一部を百田川の河川改修事業で県に譲渡したもので。市が取得してから時間を空けずに県に売却したもので、地目が田のままで処分となった。

Q 子育てパパママリフレッシュ事業の成果は

始まったばかりの事業だが支出より不用額の方が多い状況。4時間分のファミリーサポートの利用券に期限の設定がないからか。また、ファミリーサポートの利用にながっているのか。

A ホームビジターとの連携で支援につながった

利用期限は2歳の誕生日を迎えるまで。昨年度の利用状況から1歳6か月健診時に勧奨を行った。ホームビジターの訪問による無料お試し券の配布が登録にかなり結びついている。4か月健診と10か月健診の間、本当に支援が必要なお子さんに確認する訪問がないが、ホームビジターが訪問した後の情報提供により支援につながった事例が4件あった。

Q 老人クラブの課題解決への認識は

成果報告書では高齢者コミュニティの魅力発信の支援を成果と課題に記載しているが、魅力発信のみで解決できる課題なのか。組織そのものが活動内容の革新とかそういったものが必要だと思いが認識は。

A 会長とコミュニケーションを深め取り組む

昔と違いライフスタイルが様々あり選択できる状況になっている。少しでも老人クラブにご理解いただき加入に興味をもっていただければと思い記載した。組織的なことも会長と情報交換をした中でお互いにコミュニケーションを深め、取り組むべきところを明記したいと思う。

Q 定期借地の保証金増額の理由は

定期借地に関して、契約更新に際して保証金を増額したと説明されたが、土地単価としてはそう異動がないように感じるが理由は。

A 地価ではなく解体費を根拠にしている

保証金は土地の単価の増減によって決まるのではなく、今建っている建物の解体費を企業が見積もりをとって、それと同額を保証金として預かっている。

菊田 広嗣 委員 (誠和会)

Q 友好協定から一歩踏込んだ国際交流の考えは

数年前の答弁で大きな事業を行うよりもまずは関係を積み重ねる時期とあった。ケンジントン&チエルシー王室特別区と友好協定を結んだいま、一歩踏み込んだ国際交流の考え方について伺う。

A 成熟してきたが大切なのは子どもたちの交流

他から本宮を見ることがによりモノを見る、判断する力を子どものときから養わないといけない。英国に行っていない生徒も含めてSNSを通して交流しており、お互いの交流が成熟してきた。多民族国家のイギリスというところを見て、学ぶことが、将来の日本に間違いなくつながる。一番大切にしたいのは子どもたちの交流である。

Q 成果報告の課題に意識の差があるのでは

事業や部署により顕在化した課題のみを記載するものもあれば将来に向けた潜在的課題を記載するものもある。職員の意識の差の現れとも感じる。目的と手法の分離などに関する意識を庁内で平準化し成果報告書の意義をより高めてはどうか。

A 決算だけでなく来年度の予算編成に向けて不具合があれば互いに理想を求めていきたい

以前は同じようなものを2つ作成していたが一本に絞り内容を充実させるため今回の形となった。市民の代表である議員に決算認定をいただく大きな目的があるがそれだけでなく、次の年度の予算をいかに編成するかやり取りの場であると考えている。お互いこの本宮の決算、予算の審査をする資料として一審議論しやすい、その理想をこれから求めていきたい。改良はやぶさかではない。

渡辺 秀雄 委員 (創成・公明の会)

Q 2割に満たない参加率、敬老会のあり方は

県内の高齢化率はますます上昇している中、成果報告書では参加率が2%伸びたとあるが全体で20%に満たない。職員の事務量やボランティアの協力なくしてはできない大変な事業であるが、ありようの検討をすべきでないか。

A 社会参加の時間として大切に、事業の内容を精査しながら続けたい

確かに全体の出席率からすれば悪い。しかし、出席率は数段増えておりコロナの影響から少しずつ抜け出ているのかなと思う。どちらかというと参加者は女性の方が多い。社会参加をしていただきながらみんなで一緒に笑ったりお話をしたりという時間を大事にしたい。ただきながら、実行委員会の方の負担をできるだけ少なくしつつ参加者に喜んでもらう。その考えで来年もやっていきたい。

Q 予算の不用額が多いのでは

補助がはつきりしなく不用になったものやいろいろな問題があると思うが、予算編成上3月の議会で補正できないのか。

A 前例踏襲でなく議員と意見交換しながらという健全なあり方の中で考えていきたい

一時から比べて入札率が低くなってきたということもあるが、言われてみるまで気が付かなかった。上手にお金を回していきながら市民サービスの向上につなげるのが基本だと思う。今まで前例踏襲でやっていることでなくその都度、議員の皆様との意見交換のなかでヒントをいただきながら次につなげるのが健全なあり方ではないかと思う。真摯に受け止め考えさせていただきたい。

10億2,330万円の増額

一般会計総額186億2437万円に

補正予算の主な内容	補正額
白沢公民館稲沢分館長寿命化改修	3億6,452万円
岩根地区キオスク端末設置	363万円
みずいろ公園駐車場整備	2,160万円
市道舘ノ越・関根線道路改良	714万円
市道舘ノ越・関根線、赤木・狐森線開通式	350万円
市道・用悪水路維持・改良工事	6,820万円
減債基金積立	2億円



減債基金とは？

市は、施設の整備などで特定の世代に負担が集中しないように、借金(市債)をします。

将来の返済に備えての貯金や、期限の前に返済して(繰上償還)利子負担を軽減するために減債基金などの基金に積立てをしています。

キオスク端末で岩根地区の 証明書交付サービス向上

岩根地区では、岩根地区公民館内にある岩根出張所で住民票などの一部証明書の交付を行っています。令和8年3月から、平日の日中に職員が常駐している岩根郵便局にキオスク端末を設置します。これにより利用日が週3日から週5日へ拡大されるなど、サービスの向上と業務の効率化が見込めます。

市では、キオスク端末の利用や「マイナンバーカードの携帯促進」のためPRを進めるほか、キオスク



ク端末で取得できる証明書の種類を増やすなど利便性の向上に努めるとのことです。

▲自治体のデジタル変革(DX)が進む

稲沢分館の長寿命化 駐車場舗装、避難所機能向上

白沢公民館稲沢分館は、竣工以来37年が経過しており、長寿命化のための工事を行います。

この工事では、照明のLED化や内外壁の改修、駐車場の全面舗装のほか、空調設備の設置、みんなのトイレの設置、非常用発電機の設置など災害時の避難所としての機能の充実が期待されます。



▲施設の老朽化は全市の課題
暑さ対策や災害対策も急務

総務文教 常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市税特別措置条例の一部を改正する条例制定のほか議案3件、陳情2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算 (第3号)

説明 しらさわグリーンパークについて、外周側溝の地盤沈下のため発生した破損を修繕する。また、防犯対策として監視カメラの設置を行う。

問 防犯対策の効果はどのようなものを見込んでいるか。

答 今年5月の銅線盗難事件に係る再犯防止策であり、監視カメラの設置により抑止力を向上させることが最も効果的であると判断した。

学校情報機器一人一台 端末購入契約について

説明 中学校におけるICT教育充実のため導入しているタブレット端末について、県が実施したプロポーザルの結果に基づき共同調達を行う。

問 市独自で入札した結果と比較した場合の価格差は。

答 比較はできないが、予算を大きく下回る入札結果になった。なお、共同調達への参加が国庫補助の交付要件となる。

陳情審査

陳情第4号『所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について』

陳情第4号は、所得税法第57条の定めにより、納税者は白色申告に限らず家族従業者の給与をすべて経費に計上できる青色申告を選ぶことも可能であることから不採択と決定しました。

防衛省『まるわかり！日本の防衛はじめての防衛白書2024』の小学校への直接送付をやめることを求める陳情書

陳情第7号は、当該書籍は慎重に取扱うこととしており、また世界で起きている現実について知るための教育も必要という意見もあり不採択と決定しました。

生活福祉 常任委員会

生活福祉常任委員会には、令和7年度本宮市一般会計補正予算(第3号)のほか議案3件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算 (第3号)

説明 まちタクの運行委託料や岩根郵便局へのキオスク端末設置、東北自動車道救急業務支弁金等を補正する。

問 東北自動車道救急業務支弁金とはどのようなものか。配分のルールと実際の出勤実績は。

答 高速道路での救急、救助にはインターチェンジを通る必要があり、救助、救急に要した費用についてはNEXCO東日本が負担するという制度。消防署が救急隊を維持するために必要となる基準額に対して、高速道路出勤分とみなされる率として本市では5%が採用され、支弁額のすべてを安達広域行政組合の消防費へ充てている。令和6年度における高速道路の出勤件数は安達地方広域行政組合管内で37件であった。

介護保険特別会計 補正予算(第2号)

説明 前年度決算に伴い、繰越金や積立金、国、県等への返還金等を補正する。

問 各自治体とも介護保険の運営に関しては危機感を持っていると考える。本市の介護保険の運営状況は。

答 令和6年度から保険料の基準額を100円下げた。1号保険者で比較所得の高い方については納付額が多くなっている状況。本市に関しては基金の積立てもあり、保険料の納付状況もよく、安定した運営が見込める状況である。保険料は3年毎に見直していくため給付費の動向を見たい。

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会には、専決処分の承認を求めることについて(専決第6号令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第2号))についてのほか議案6件、陳情2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

専決処分の承認を 求めることについて (水道事業会計補正予算)

説明 漏水した水道管の工事で断水と農機の運行への影響を少なくするため工法を変更したが変更額の把握が遅れ予算に不足が生じ専決処分となった。

問 設計変更が必要となった時点で予算の不足を認識できなかったのか。

答 設計変更が必要となれば予算の過不足を確認すべきだった。再発防止に努めていく。

陳情審査

陳情第5号「食料自給率向上都市宣言」を求める陳情書、陳情第6号「米の安定供給等を求める陳情書」について審査を行い、陳情第5号については不採択、陳情第6号については採択と決定しました。

市営住宅及び定住促進 住宅明渡し等請求訴訟 の提起について

問 明渡し請求対象になる基準額を超えて高額滞納に至った理由は。

答 入居者の事情に応じて納付交渉を行っているが、交渉期間が長引いたことで積みあがってしまった。課内のチェック体制の構築で早期対応に努めていく。

現地調査

市道舘ノ越・関根線の道路改良箇所、赤木・狐森線の道路整備箇所の現地調査を行いました。



▲舘ノ越・関根線の工事現場
(本宮字下台地内)

陳情第4号 「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出についての陳情

不採択反対

渡辺 忠夫 議員

所得税法第56号は事業主の配偶者とその家族が事業に従事したとき対価の支払いが必要経費に算入しない、家族従事者の働き分を経費に認めないことを規定している。白色申告の場合、配偶者が年間86万円、それ以外の家族は56万円の専業控除を受けられるのみで時給に換算すると最低賃金にも及ばない額である。このため、自営業者の配偶者や家族は社会的にも経済的にも自立しにくく不利益を受けている。青色申告にすれば給料を経費にできるが税務署長への届出、承認を前提とした納税者への特典に過ぎず働いた実態があり商売に応じた記帳を行っているにも関わらず申告の仕方により納税者を差別しているのが実情だ。

請願もそうだが陳情者の意見をよく聞き審議すべきで、本当にそうなのかも調査し検討すべきと思う。

所得税法第56条は全国570を超える自治体でも意見書を採択しており国連女性差別撤廃委員会でも女性の経済的自立を促進するため日本政府に勧告している。日弁連や計理士団体など国内外の女性運動との共同、連帯で世論と運動が今大きく広がっている。ぜひとも採択して意見書を提出すべき。

不採択賛成

国分 秀好 議員

本陳情は、家族従業者に対する対価の支払いが必要経費として認められず、社会的・経済的な自立、後継者育成の妨げとなっていることから所得税法第56条の廃止を求めるものである。

しかし、法第57条において青色申告を行う事業者については税務署長が認める分に関して、家族従事者に支払う対価を必要経費とできる特例が定められている。

法第56条の趣旨は、家族間での形式的な給与配分により課税所得を恣意的に分散させることを防止することであり、特例と一体的に運用することで制度的な均衡を図っているものである。

納税者には事務負担の少ない白色申告と税制上有利な青色申告を選択する自由があることから不採択にすべき。

陳情第4、5、7号については、付託された総務文教常任委員会、産業建設常任委員会において「不採択」にすると決定されたため、これに対して賛成・反対それぞれの立場から討論をしています。

陳情第5号 「食料自給率向上都市宣言」を求める陳情書

不採択反対

渡辺 忠夫 議員

日本のカロリーベースでの食料自給率は先進国の中でも最低の38%で多くを輸入に依存している。化学肥料のほぼ全量、野菜の種子の9割が輸入頼みであることを考慮すると実際は1割にも満たないとの指摘もある。戦争や紛争が多発する世界情勢、気候危機による不作、世界人口の増大の中で食料を他国に依存し続けるのは極めて危険である。しかし、そのような中で米農家は20年前の175万戸から53万戸に激減するなど国内の様々な農家は減少し続け、輸入品には農薬や遺伝子組換え、ホルモン剤投与など問題が指摘されている。

今、地場産、有機食材で地産地消を実践していくと、自給率向上につながっていくということで、この宣言を行うことは大変なことだと思う。本宮市の平和都市宣言や旧白沢村のスポーツ振興の村宣言は施策に大きな役割を果たしている。大きな意味を持つこの陳情を採択すべき。

不採択賛成

渡辺 富幸 議員

本陳情は、学校や保育園、病院などの給食での地元食材の利用促進と、生産者と消費者の交流により食への理解や地産地消の推進を図るために食料自給率向上都市宣言を行い、市民へ周知するとともに自給率向上に向けた施策の推進を求めるものである。

しかし、給食センターでは主に地元の食材が使用され、既に利用が推進されている。また、市の若手農業団では市内外で農作物の販売会等を実施しており、地元食材の消費拡大推進や消費者との交流の取組みとなっていると感じる。宣言による効果や想定される課題を考慮した結果、宣言する必要がないものと判断し、本陳情を不採択にすべき。

陳情第7号

防衛省「まるわかり！日本の防衛 はじめての防衛白書2024」の小学校への直接送付をやめることを求める陳情書

不採択反対

渡辺 忠夫 議員

内容は明らかに憲法違反で、戦争を起こさないようにするためには抑止力が大切、ウクライナ侵略の原因を防衛力と表記し、中国、北朝鮮、ロシアを仮想敵国化し危険をあおる内容となっている。さらに反撃能力を正当化して日米同盟の重要性や防衛費増の必要性を説明している。

国民の中には様々な考え方がある中で子どもの発達段階を考慮せず政府の考え方を一方的に押し付ける内容となっている。文部科学省を通さずに直接送付するという教育の中立性を脅かし政治の不当な介入というべき大問題である。憲法違反、あるいは地方自治を減するようなやり方を許しておくことは問題であり意見を国に挙げていく姿勢がますます強く求められているのではないかと。

不採択賛成

国分 秀好 議員

本陳情は、7月に防衛省より全国の小学校に配布された冊子について教育の中立性を保つため直接送付をやめるよう要請することを求めるものである。

しかし、教育委員会としては教材研究の資料としての活用に留めるなど取り扱いには慎重に行うこととしている。そのうえで、現在日本を含めた世界情勢について子どもたちの理解を深めるための教育も必要である。当該書籍の活用についてはあくまで任意であり子どもたちが多様な考え方に触れる機会となりうるという意見もあり不採択に賛成する。

令和7年9月定例会 議決結果一覧

陳情 4件 議員提出案件 3件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
陳情第4号	「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出についての陳情	総務文教	不採択
陳情第5号	「食料自給率向上都市宣言」を求める陳情書	産業建設	不採択
陳情第6号	米の安定供給等を求める陳情書	産業建設	採 択
陳情第7号	防衛省『まるわかり！日本の防衛 はじめての防衛白書2024』の小学校への直接送付をやめることを求める陳情書	総務文教	不採択
発議第5号	米の安定供給等を求める意見書	—	原案可決確定
—	議員派遣	—	決 定
—	閉会中継続審査(各常任委員会)	—	決 定

令和7年9月定例会 議決結果一覧

市長提出案件 諮問1件 議案35件 報告3件

番 号	議 案 名	付託委員会	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省 略	同 意
議案第70号	自治功労表彰について	省 略	同 意
議案第71号 ～議案第82号	特別功労表彰について	省 略	同 意
議案第83号	専決処分の承認を求めることについて (専決第6号 令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第2号))	産業建設	承 認
議案第84号	本宮市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	原案可決確定
議案第85号	学校情報機器一人一台端末購入契約について	総務文教	原案可決確定
議案第86号	市道路線の認定について	産業建設	原案可決確定
議案第87号	市営住宅及び定住促進住宅明渡し等請求訴訟の提起について	産業建設	原案可決確定
議案第88号	令和6年度本宮市一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第89号	令和6年度本宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第90号	令和6年度本宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第91号	令和6年度本宮市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第92号	令和6年度本宮市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第93号	令和6年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第94号	令和6年度本宮市水道事業会計決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第95号	令和6年度本宮市公共下水道事業会計決算認定について	決算審査特別	認 定
議案第96号	令和7年度本宮市一般会計補正予算(第3号)	各常任委員会	原案可決確定
議案第97号	令和7年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	生活福祉	原案可決確定
議案第98号	令和7年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	生活福祉	原案可決確定
議案第99号	令和7年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第2号)	生活福祉	原案可決確定
議案第100号	令和7年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	産業建設	原案可決確定
議案第101号	令和7年度本宮市水道事業会計補正予算(第3号)	産業建設	原案可決確定
議案第102号	令和7年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	原案可決確定
議案第103号	財産の取得について	省 略	原案可決確定
議案第104号	令和7年度本宮市一般会計補正予算(第4号)	省 略	原案可決確定
報告第10号	令和6年度本宮市継続費精算報告書について	—	—
報告第11号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく 令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—
報告第12号	専決処分の報告について (専決第7号 和解及び損害賠償額の決定について)	—	—

9月定例会賛否一覧

下記以外の議案等は全会一致で可決されています。

会派名	誠和会							創成・公明の会							新風会			共	無所属	
議員名	石橋	玉川	橋本	菊田	磯松	渡辺	後藤	渡辺	川名	三瓶	菅野	三瓶	根本	馬場	斎藤	田中	国分	渡辺	伊藤	作田
議案	今朝夫	実	善壽	広嗣	俊彦	富幸	友誉	秀雄	順子	裕司	健治	幹夫	利信	亨守	雅彦	美代子	秀好	忠夫	隆一	博
陳情第4号不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○
陳情第5号不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	●	○	○
陳情第7号不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	●	○	○

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長(斎藤雅彦)は採決には加わらない

※ 会派名の略称は次のとおり 共…日本共産党



人 事

諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

任期満了に伴う人権擁護委員の任命について、全会一致で同意しました。

人権擁護委員（再任） 石澤 貴代子 氏（本宮字上町）



表彰

すべて全会一致で同意しました。表彰を受けられた皆様におかれましては長年にわたるご献身に感謝するとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

議案第70号 自治功勞表彰について

21年2か月の間、農業委員会委員を務め、地域農業の発展に多大な貢献をされました。

遠藤 政幸 氏（青田字萱林）

議案第71～82号 特別功勞表彰について

29年の間、しらさわふれあい文化ホール及びふれあい美術館運営協議会委員として市の文化振興に多大な貢献をされました。

国分 政司 氏（糠沢字堀ノ内）

21年の間、しらさわふれあい文化ホール及びふれあい美術館運営協議会委員として市の文化振興に多大な貢献をされました。

安達 孝子 氏（稲沢字松森）

26年の間、保護司として安全・安心な地域社会づくりに多大な貢献をされました。

遠藤 秀男 氏（仁井田字五百川）

22年の間、本宮市健康づくり推進員として保健事業の増進に多大な貢献をされました。

阿部 澄子 氏（本宮字南町裡）

21年の間、本宮市健康づくり推進員として保健事業の増進に多大な貢献をされました。

藤原 律子 氏（本宮字栄田）

21年の間、本宮市健康づくり推進員として保健事業の増進に多大な貢献をされました。

武藤 せつ子 氏（本宮字兼谷）

20年の間、本宮市健康づくり推進員として保健事業の増進に多大な貢献をされました。

佐々木 町子 氏（本宮字北ノ内）

18年の間、本宮市環境委員連合会役員として幅広い環境行政に多大な貢献をされました。

長尾 良夫 氏（本宮字富ヶ峰）

22年の間、安全運転管理本宮事業主会役員として交通安全の普及に多大な貢献をされました。

米津 健治 氏（郡山市深沢）

22年1か月の間、本宮地区安全運転管理者協会役員として交通安全の普及に多大な貢献をされました。

三瓶 和二 氏（本宮字近江内）

20年2か月の間、統計調査員として統計行政の推進に多大な貢献をされました。

遠藤 靖夫 氏（青田字岩井）

12年3か月の間、交通安全教育専門員として交通安全教育に多大な貢献をされました。

三瓶 和彦 氏（長屋字根廻）

市 政 を 問 う

一 般 質 問



一般質問とは

議員が、市政全般のことについて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がきっとあります。

質問議員	質問事項	ページ
磯松 俊彦 (誠和会)	・河畔広場について利用促進策は ・太陽光発電設備の現状規制は	14
作田 博 (無所属)	・除染土の受け入れについて ・学校給食の無償化について	14
田中 美代子 (新風会)	・介護人材の養成支援について ・多様化する多文化共生の施策は	15
後藤 友誉 (誠和会)	・住宅用火災警報器の設置について ・全国学力テスト結果について	15
国分 秀好 (新風会)	・生成AIの活用と今後の課題は ・今後の白沢地区幼稚園運営は	16
玉川 実 (誠和会)	・みずきが丘入口までの坂道整備は ・地方創成2.0 本市の取り組みは	16
石橋 今朝夫 (誠和会)	・5歳児健診の実施時期は ・県道改良、協議は進んでいるのか	17
渡辺 忠夫 (日本共産党)	・コメ増産の市の考えは ・保護者の負担軽減を	17



QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。



▲一日も早い除染土の処分が完了することを強く望みたい

問 東京電力福島第一原子力発電所事故後に出た除染土の最終処分を県外で行うことが法律で定められている。NHKの再利用受け入れのアンケートに対し、本宮市は条件付き受け入れを表明したが、条件付とはどのような条件なのか本市の考えは。

答 本市としては、具体的指針と財政負担を明示すること、国県が積極的に先行的事例を示すこと、さらには、住民の皆さんに十分理解が得られる説明を尽くしていただくことを受け入れ条件に必要なものとして考えている。

問 子育ての若い方から、物価の高騰、米の値上がり、ローンの支払いなど、生活が大変、住みよさランキング県内1位なのに、本宮市ではどうして小中学校の給食無償化にならないのか、大玉では子育ての経済負担を軽減しているが。

答 給食無償化については、何度が一般質問で問われた。現時点では市独自の無償化は予定していない。負担軽減無償化は国が行うべきである。国の動きについて今後注視していきたいと考えている。

その他の質問

- ・グリーンパーク改修後のこけらおとし事業は



問 除染土の受け入れについて 答 市民への理解醸成を丁寧に説明

作田 博
(無所属)



問 中條イベント広場整備にかかった費用は。河畔広場について、利用する工夫はないか、ベンチなど施設の充実を図ればと思うが、今後の利用促進策は。地域イベント開催について行政が関与したきっかけづくりが必要と考えるが。

答 イベント広場は3ヶ所で作成され、中條北駐車場は約1,742万円、夢広場は約1,746万円、河畔広場は約4,977万円。新たにベンチを設置する考えは現時点でない。事例紹介や会場確保など、情報提供が必要な場面で支援を行っている。

問 太陽光発電設備の設置状況は、土手や法面への設置など、土砂災害に伴うリスクが考えられる。どのように安全が担保されているのか。太陽光発電設備にも当然耐用年数はある。年数経過に伴う業者の責務について伺う。

答 資源エネルギー庁のガイドラインを遵守し整備する他、市でも施設の維持管理及び撤去に関する要綱を制定、事業終了の際、速やかな設備撤去と適正な廃棄物処理義務、撤去費用の源泉徴収積立義務や産廃マニユーフエースト提出義務を定める。

その他の質問

- ・近年の気温上昇に伴う市民生活への影響について
- ・今後草刈りを安全に行うために



▲河畔広場と安達橋



問 河畔広場について利用促進策は 答 大変難しいと考えている

磯松 俊彦
(誠和会)



問 太陽光発電設備の現状規制は 答 資源エネルギー庁の安全対策

答 資源エネルギー庁のガイドラインを遵守し整備する他、市でも施設の維持管理及び撤去に関する要綱を制定、事業終了の際、速やかな設備撤去と適正な廃棄物処理義務、撤去費用の源泉徴収積立義務や産廃マニユーフエースト提出義務を定める。

▲河畔広場と安達橋

問 ①本市での設置率・条例適合率の状況は。②築年数が古い家、高齢者世帯、障がい者世帯などに重点をおかなければ設置率の向上が困難になるが市の認識は。③交換のタイミングの周知をしなければ未設置と同じになり盲点と考える。市の考えは。

答 ①設置率78%、条例適合率63%②ご意見のとおりで安達地方広域行政組合消防本部と協議して啓発強化を考える。③警報器は命を守るもので更新の必要性を軽視したり失念したりすることないよう行政として呼びかけ、効果的な啓発に取り組む。

問 ①全国学力テスト結果について、本市は県・全国平均と比較してどうだったのか。②こうして比較したうえで本市の現状を認識し、総体的にどのように改善を考えているのか。

答 ①小学生は国語、算数、理科とも全国及び福島県の平均より下回った。中学生は国語、理科全国平均を下回り県平均と同点。数学は下回った。②結果をだしている学校は授業の質が高い。ICT活用の理解深め、学力向上の授業改善すすめる。

その他の質問

- ・住宅用火災警報器設置・更新推進取組について
- ・非認知能力の保護者向け講習、研究等しては



安達地方女性防火クラブ連絡協議会啓発ポスターより



問 住宅用火災警報器の設置について 答 死傷者や損害額を減じさせる効果

後藤 友誉
(新風会)



▲中高生向けに作成された介護職魅力発信パンフレット

問 高齢人口が増加する中、介護現場では人材不足が深刻な問題となっている。介護人材の確保に向けた支援が重要と考える。①介護人材養成対策の現状は。②介護職員の復職を支援する体制は。③将来を見据えた介護人材養成の取り組みは。

答 ①介護資格取得費用を一部助成。介護の魅力発信事業で中高生向けのパンフレット作製配布。②県社協で介護人材再就職準備金制度あり、広く周知図る。③市内中学・高校におき介護事業者へ職場見学、体験を実施し職業選択につなげたい。

問 本市では、中学生の海外交流事業により国際性豊かな人材育成が展開されている。今後国際交流が盛んになり、外国人技能実習生の受け入れも拡大し急速にグローバル化が進むと予想される。市民の理解も必要。今後の取り組み等は。

答 国際理解を推進、グローバル社会と調和した市民の育成、外国人が暮らしやすい環境整備、地域力を活用した交流促進を施策とし取り組んでいる。今年度は小・中学生の国際理解講演会、市民向け講座開催を通して多文化共生につなげていく。

その他の質問

- ・外国人就労者と技能実習生の現状と課題は
- ・外国人住民災害発生時への対応と取組の現状は



問 介護人材の養成支援について 答 介護人材確保は重要な課題と認識

田中美代子
(新風会)



問 多文化共生に取組んでいる

その他の質問

- ・外国人就労者と技能実習生の現状と課題は
- ・外国人住民災害発生時への対応と取組の現状は



▲みずきが丘東側入口坂道エリア

問 本件は2年前の定例議会で質問しているが、その後について。市道立石山・本郷線は二中からの通学路で、みずきが丘東側入口まで続く150メートルの坂道は車道と歩道が分離されていない道路。既に設計が完了しているとの説明について内容は。

答 140メートルほどの区間は令和6年度に測量設計が完了し、今年度当初予算で道路改良のための用地取得費をいただし、8月に地権者と用地契約が完了した。9月補正予算の承認をいただいた後は早急に工事発注予定、年度内完了を目指す。

問 本市では地方創成の取組として、地域ブランドや地場産品の開発販売PR等、産業の従事、住民支援などの「しらすわ地域おこし協力隊」がつけられている。他の取組もあるが魅力あるまちづくり発信はポテンシャルの高い取り組みが必要では。

答 本市では総合計画の後期基本計画の中に総合戦略が内包されているような形となっている。引き続き、時代と市民ニーズに合った移住定住に結びつく幅広いサービスを提供して、今まで以上に取り組むことを考えている。

その他の質問

- ・福島県家畜市場付近の防犯灯整備は
- ・岩根幼稚園の園庭及び岩根小学校の校庭は



問 みずきが丘入口までの坂道整備は
答 9月補正承認後の年度内完了

玉川 実
(誠和会)



問 AI技術は急速に進化し、あらゆる分野において活用が進んでいる。文章や画像を自動生成する生成AIは業務の効率化の支援に大きな可能性を秘めているが、本市の活用状況は。一方で個人情報保護等の課題もあるが本市の考えは。

答 本市では職員で構成しているDXワーキンググループという組織で生成AIが何の業務に活用できるか検討している。9月1日からは防災無線をAI放送で実施している。また個人情報漏えい等、リスク回避の対策も検証していく。

問 昨年12月定例会一般質問において、少子化による白沢地区の幼稚園統合についての質問をした。今年の夏までには方向性を示す答弁があったがその状況を踏まえ今後の幼稚園運営の方向性は決まったのか。

答 幼保一体型の認定こども園という形を考えている。場所については白沢中学校周辺を、運営方式については公設民営という形を考えた。新しいこども園については、様々な特色を持たせ、魅力あるこども園にしていきたい。

問 今後の白沢地区幼稚園運営は
答 幼稚園と保育所統合で考えている



問 生成AIの活用と今後の課題は
答 今後積極的に導入していきたい

国分 秀好
(新風会)



▲生成AIで業務効率化



▲コメの増産を

問 コメ不足の実態が告発され政府に対し備蓄米の放出、減産から増産への転換を求める声と運動と世論に押され政府はコメ不足を認め増産を表明した。本市として今後増産するため作付面積を増やす政策転換を図らなければと思うが認識は。

答 政府でもコメの需給量の見通しの甘さなど反省し来年度の生産について増産が示された。市として増産について必要と考えている。もう生産調整をとるという立場にはない。今後はしっかりと国の施策作るよう声をあげる時期に来ていると思う。

問 保育料軽減支援について伺う。平成26年頃から第2子より保育料無料を行ってきたと思う。今も無料か。第1子については。これまで無料だったが有料になった子がいる。市の負担を増やして支援すればいいのでは。

答 3、4、5歳については国の無償化。3歳未満の子は保育料が発生する子としない子いる。第1子は保育料がかかる。無料でやってきたが国の無償化で基準に合わせると一部お金がかかる人がでてきた。状況を精査し全額無料化も含め念頭に。



問 コメ増産の市の考えは
答 市も増産を必要と考えている

渡辺 忠夫
(日本共産党)



問 発達障害の早期発見を有効とし、5歳児健診の普及に向け自治体への支援強化に乗り出し、就学前の適切な支援につなげるのが狙いで、こども家庭庁は、令和10年度までに100%実施を目指しているが、5歳児健診の実施時期はいつか。

答 市としては、令和8年度内に5歳児健診を実施できるようにしたいと思うが、発達障害等のスクリーニングに力を入れた健診となっており、健診を担っていたく安達医師会、臨床心理士等の協力が不可欠であり協議、調整していきたい。

問 飯野三春石川線の稲沢根柢から赤坂地内は狭隘箇所が多く、本宮常葉線の白岩馬場地内は急カーブであり危険なので防護柵が必要ではないか。二本松三春線についても、早期改良工事を望んでおり、土木事務所と協議は進んでいるか。

答 飯野三春石川線の要望箇所で優先順位をつけ進めており、根柢工区も粘り強く要望していく。本宮常葉線の馬場地内は危険な状況で安全施設、ガードパイプ設置について協議し、二本松三春線も県に対して要望活動を続けている。

その他の質問

- ・読書の大切さについて
- ・児童・生徒の生活習慣病予防について



▲本宮常葉線の白岩馬場地内の急カーブ、ガードパイプが必要ではないか



問 5歳児健診の実施時期は
答 令和8年度内に5歳児健診を実施

石橋今朝夫
(誠和会)



祝 敬老

発行

本宮市議会

編集

広報広聴委員会

〒969-1192

福島県本宮市本宮字万世212

FAX TEL (0243) 24-5435
(0243) 34-5567



9月に市内各地で行われた敬老会は、地域でさまざまな工夫をこらした余興が行われ、議員も出席しました。表紙の写真は本宮高校のしいたけの山ゼミの皆さんとこの歌体操を踊っている写真です。

あとがき

8月の改選で広報広聴委員会の委員長となりました磯松です。新メンバーでの市議会広報活動となりますがよろしくお願いいたします。また、近頃ではSNSを使われる方が多い時代となっております。そこでこのたび本宮市議会としてもSNSを活用した広報の取り組みを準備しております。これまでの議会だよりに加えての広報の活動となります。暑かった夏もようやく落ち着き、実りの秋となりました。皆様どうぞ有意義な秋をお過ごしください。
(磯松)

発行責任者 議員 長 斎藤 雅彦
広報広聴委員会 委員長 磯松 俊彦
副委員長 田中美代子
委員 後藤 友誉
委員 渡辺 富幸
委員 国分 秀好
委員 根本 利信
委員 伊藤 隆一

12月議会定例会は**12月1日**に開会予定です。請願・陳情は**11月18日(16時まで)**締切です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。